

けることになっています。

ゼミ活動として、希望者(3年生)だけ3月中旬頃3日間、東大または京大の大型計算センターの見学につれていきます。

私はここきて4月で7年目をむかえます。経営学科でも学部分離を機に情報関連科目の充実を考えております。
(相良信子)

広島修道大学 商学部 管理科学科

本学はキャンパス総面積36万7200m²、学生総数5292名(1984年7月5日現在)の文科系総合大学である。大学名の「修道」は中国の古典「中庸」の「天の命之を性とてい、性に率う之を道とてい、道を修むる之を教とてい」に由来し、さまざまな個性を伸ばすことである。

本学園は旧浅野藩校開設(1725年)以来250年を超える歴史と伝統をもっている。大学としての歴史は昭和27年の修道短期大学(商科)第2部の開学にはじまる。昭和31年にはこれに加えて第1部を開設している。そして昭和35年、広島商科大学(商学部、商業学科4年制昼間)を開設し、それから昭和38年には「経営学科」を、つづいて昭和44年には「管理科学科」を増設した。さらに、昭和48年、「人文学部」(人間関係学科、英語英文学科)を増設、それにともなって名称を変更し、広島修道大学となった。また、昭和49年には観音キャンパスから沼田新キャンパスへの総合移転を果し、昭和51年には「法学部」(法律学科)を増設した。

大学院に関しては、昭和46年大学院商学研究科「修士課程」、昭和48年同「博士課程」、昭和53年人文科学研究科心理学専攻・英文学専攻「修士課程」、昭和56年同「博士課程」を設置するとともに法学研究科「修士課程」を設置。さらに昭和59年人文科学研究科社会学専攻・教育学専攻「修士課程」を設置した。以上のような経過を経て本学は商・人文・法の3学部と大学院をもつ文科系総合大学となり現在にいたっている。

その中であって管理科学科においては次のようなカリキュラム(専門教育科目)が設けてある; 情報処理論Ⅰ、オペレーションズ・リサーチⅠ、システム論Ⅰ、経営学総論、会計学原理、経済原論Ⅱ、ゼミナールⅠ、ゼミナールⅡ、プログラミング、情報処理論Ⅱ、情報処理論Ⅲ、情報処理論Ⅳ、オペレーションズ・リサーチⅡ、オペレーションズ・リサーチⅢ、システム論Ⅱ、システム論Ⅲ

システム論Ⅳ、需要予測、計量経済学、マトリックス会議論、数値計算、数理統計学、生産管理論、経営管理論、近代経済学、経営財務論、外国書講読、卒業論文、特殊講義、商業実習Ⅰ、商業実習Ⅱ、職業指導、憲法、行政法、民法Ⅰ、民法Ⅱ、商法Ⅰ、商法Ⅱ、商法Ⅲ、労働法特に、中型コンピュータのみならず、3年ほど前から1室に配置された23台のマイクロコンピュータを使用して講義、研究を行なっている。

また、当学科の学生は積極的に通産省情報処理技術者試験を受験し成果をあげており、多くの卒業生がコンピュータ関連の仕事についている。当学科のめざすところは理論面にかたよることなく応用面にも強い人材の育成にあり、教員、学生ともに日夜努力している。

本稿執筆にあたり本学入試・広報課の協力により入試・広報課の資料を使用させていただいた。ここに感謝の意を表する。
(海生直人)

「研究室だより」原稿募集

ご執筆していただく内容は特に限定いたしません。たとえば、講義、講座の紹介、研究室の出来事や行事の紹介、など自由にご執筆ください。

また、研究室の範囲は、研究機関や大学全体、学部、学科、学科内の1研究室など、いずれでも自由です。

会員の皆様からの積極的なご寄稿をお待ちしております。